

# 1966年度冬山合宿計画概要

1. 参加人員 岡村紀雄、佐々木史郎  
木村修二、市野勝正  
黒良明、河原洋

## 2. 人員構成

C.L. 岡村、S.L. 佐々木、装備裏、  
市野、食糧 木本、河原  
気象 佐々木 会計 河原 記録 佐々木

3. 期間 12月17日 ~ 28日  
実動 6日間、予日 5日間

## 4. 行程

12月17日(土)	上田	-----	松本
18	松本	----- 17:30	天狗原
19	天狗原	----- 6:30	村営小屋
20	村営小屋	----- 6:30	天狗の孔
21	天狗の孔	----- 7:00	五竜小屋
			(注 木村、市野両氏は唐松留、針ヶ原より下り)
22	五竜小屋	----- 8:30	冷小屋
23	冷小屋	----- 5:00	爺栗尾根を下り上田

## 合宿準備計画

11月21日(月)	12:50	生協 装備、食糧計画の検討	} 二日間のこと 決定
11月24日(木)	4:00	14号室 S.L. のもとに冬山合宿の目的と計画を話し、装備、食糧の再検討、会計系統図の検討	
11月26日(土)		生協より冬山より最終決定の原稿提出	
11月27日(日)		西館上にて全員若くは(他に各自1回行くと)	
11月28日(月)		} 計画書制作	
29			
30			放課後15時30分 東14号室に集まること。
12月1日		地上トレニング開始	
12月10日		二日以前はトレニングを望む	
12月5日		雇工退職 手紙と謝状の提出	

- 12月8日(金) 合宿費提出 厳守
  - 12月10日(土) 浅田雪上訓練 | 天幕の張示、ワカン
  - 12月11日(日) 浅田雪上訓練 | ワカン、ワヤン、ワヤン
  - 12月12日(月) 合宿準備開始
  - 12月16日(金) パツキング終了
  - 12月17日(土) 松本へ出発
- 12月17日 本年ノメインイベント

今年への合宿を反省して開くと、沢山の钱が  
 部のチームワークは満足のおかげで出来  
 なかった。あの厳しい自然条件を乗り越えて行  
 る冬山合宿においては、個人の体力、技術、  
 精神力はもちろんのこと、縦走形式にお  
 いてはチームワークが必須である。

そのためには、準備段階において、各自の責任  
 ではなし積極的に協力しあい、チームワークを  
 中であたがりの信頼感を強め、より強かな  
 チームワークを育てていく必要がある。

皆さんへ元張ろう